

明けまして
おめでとうございます

伊豆の国市長 新年のあいさつ

市民の皆様には、ご家族様
お揃いにて輝かしい新春をお
迎えのことと拝察し、心より
お慶び申し上げます。

さて、伊豆の国市が誕生い
たしましてから七年を経過
し、第一次総合計画も後期基
本計画に入りました。総合計
画の将来像であります『自然
を守り、文化を育む、魅力あ
る温泉健康都市』の実現のた
め、前期基本計画に引き続き、
三つの戦略と六つの基本方針
の下に、主要施策を時代の潮
流や環境の変化に適合した事
業推進を計るべく取り組んで
まいります。

将来像実現のための 五つのプロジェクト

特に五つのプロジェクトを
掲げ、相対的に資源を注力し
て将来像の実現を目指します。
その一は『暮らしの力の強化』、

安定した産業の振興を図りま
す。その二は『防災力の強化』、
東日本大震災の教訓を生かし
市全体の防災力を強化します。

その三は『健康力の強化』、生
き生きと暮らせる力を育みま
す。その四は『循環力の強化』、
地域資源の循環を推進いたし
ます。その五は『歴史資源活
用力の強化』、郷土愛と誇りを
醸成いたします。

本年の重要施策

長らく低迷する経済情勢の
中で、EU諸国の財政問題や
米政府の債務超過問題から
急激な円高や国内企業の空洞
化が進み、雇用環境は益々厳
しいものとなっております。

地方行政にあっても、先行き
不透明感が一層増していま
す。さらに追い打ちをかける
ように自然災害が重なり、先
の東日本大震災は、防災対策
とともに原発事故によるエネ

ルギーに対する警鐘という形
で、今後の日本社会全体に深
刻な事態をもたらしたと言え
ましょう。

このように混沌とした社会
にあっても本市行政が追及す
る『住民の福祉の向上』の役
割は、益々重要なものとなっ
てきています。本年の重要施
策としては、防災対策を第一
に掲げ、人口増を図るべく住
宅政策の強化、観光施策のさ
らなる推進、医療充実に向け
た諸施策の推進、商工業並び
に農業による産地化などを予
算化していきます。

世界遺産登録に向け ご支援ご協力を

葦山反射炉が『九州・山口
の近代化産業遺産群』世界遺
産登録推進協議会の構成資産



候補になるなど、本市にとっ
て明るい兆しも出てきており
ます。このことはこれまで推
進してきた施策が芽を出し、
花を咲かせ、実を結ぼうとし
ている好例であると思いま
す。引き続き、市民皆様のご
支援ご協力を是非お願い申し
上げます。

今年の干支は壬辰

今年の干支は、辰（壬辰）
です。壬辰の年は、『御時世
が頂の分水嶺から新世代へ大
きく傾く』とあり、新時代へ
の変化の年といわれています。
す。本市の先人『江川英龍』
は、まさに新時代を見越して
生きた人物。彼の偉業を後世

望月良知

伊豆の国市長

結びにあたり、新しい年が
市民皆様に素晴らしい年とな
りますようご祈念申し上げま
して、新年のあいさつとさせ
ていただきます。

謹賀新年

明けまして
おめでとうございます

皆様には、希望あふれる輝
かしい新年を迎えられたこと
とお慶び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代
表して謹んで新春のご挨拶を
申し上げます。

また、日頃より、市政の発
展と議会運営に対して多くの
御支援と御協力をいただき、
深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返り

昨年を振り返りますと、米
国の景気回復の減速、欧州の
EU加盟国の財政不安など世
界経済が揺れる中、我が国で
は台風、豪雨、東日本大地震な
どの自然災害や原発事故によ
る電力不足が、社会・経済に大
きな影響をもたらしました。

政府は、景気が停滞する中
で東日本大震災の復興を最優
先課題として、これを賄う『臨

限られた財源で市民生活・ 福祉の向上を要望

このような状況下で、4月
からの伊豆の国市新年度予算
と『第一次伊豆の国市総合計
画』の後期基本計画案が同時
に検討され、編成作業が行わ
れています。限られた財源で
市民生活・福祉の向上を図ら
れ、効率のよい予算案と総合
計画案が組まれることを要望
します。

特に後期基本計画案につ
きましては、事務事業の計画案
が財政面で無理がないか、当
初の計画を修正するか、計画
の将来像を十分に満たす内容
か、市民の代表機関として監

視し、適宜、提案もしてい
きたいと思ひます。

地震防災について

市民の皆様が心配する地震
防災につきましては、震災後
に開催された市議会6月定例
会の一般質問で多くの議員
が、大震災を教訓とした地域
防災計画の見直し、避難所の
増加、防災訓練の内容の充実
など、市民の安全と安心を基
本とした『地域防災』の観点
から当局の取り組みについ
て、質問をしています。地震
対策では先進県と言われてい
る静岡県も、今回の大震災か
ら多くのことを学び、またい
ろいろな事実から危機感を持
ち、今まで以上に家族、友

市民と行政の かけ橋として

最後に、私も市議会は、
ますます多様化する社会・経
済情勢の変化を的確に把握
し、『自然を守り、文化を育む、
魅力ある温泉健康都市』の実
現を目指します。そして、今
後も創意工夫を重ね、市民の
皆様が市政運営に参加できる
環境を整えると同時に、市民
と行政のかけ橋としての役割

と責任を自覚し、従来より一
歩前へ進んだ議会制度改革に
取り組んで行きます。
どうか、本年も相変わらぬ
御理解と御協力を賜りますよ
う心からお願ひ申し上げます
とともに、皆様方の御健勝を御
祈念申し上げ、新年の挨拶と
させていただきます。

伊豆の国市議会議長

板垣紀夫



伊豆の国市議会議長 新年のあいさつ